



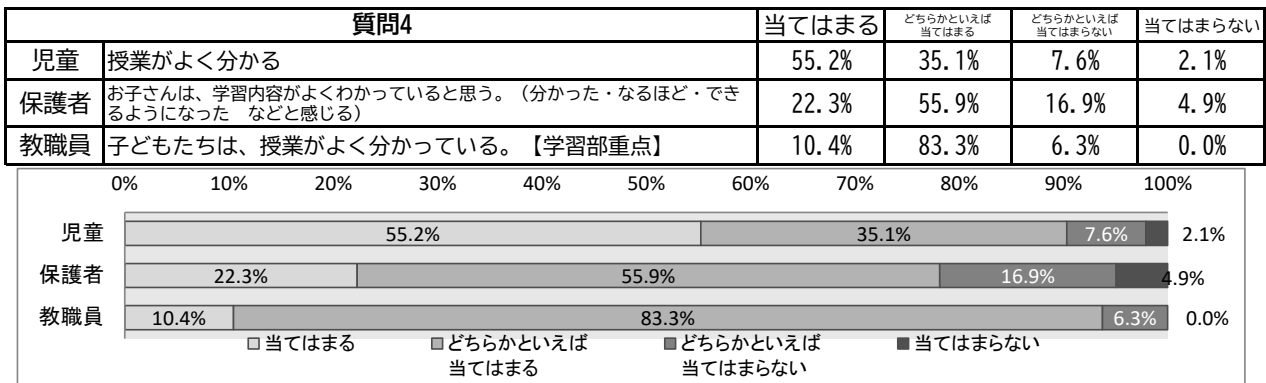
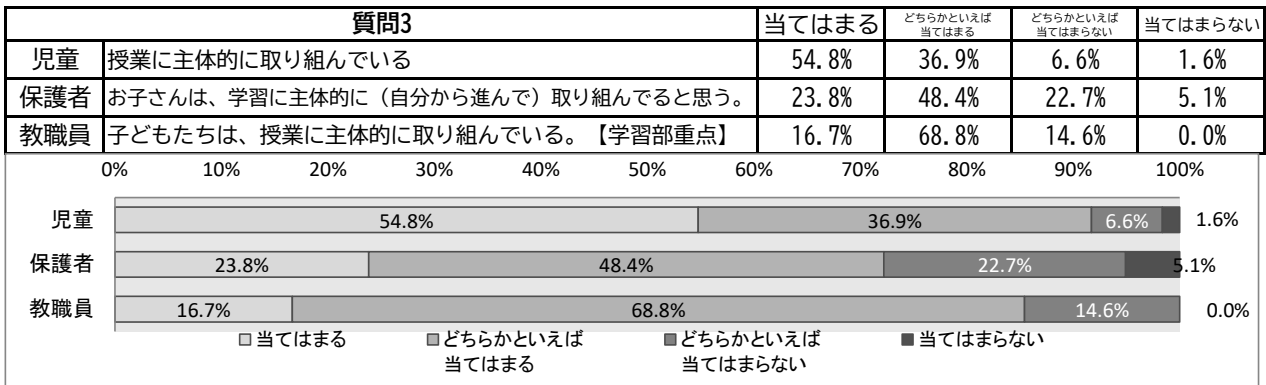
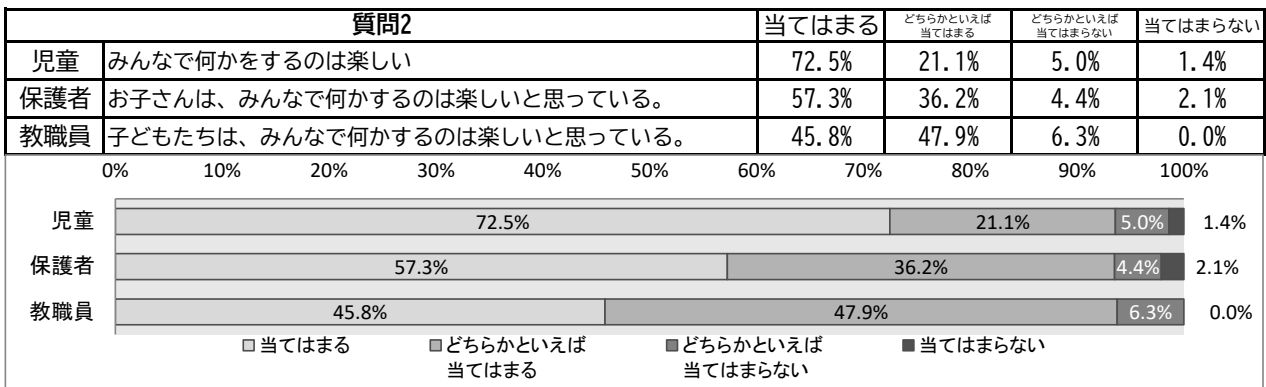
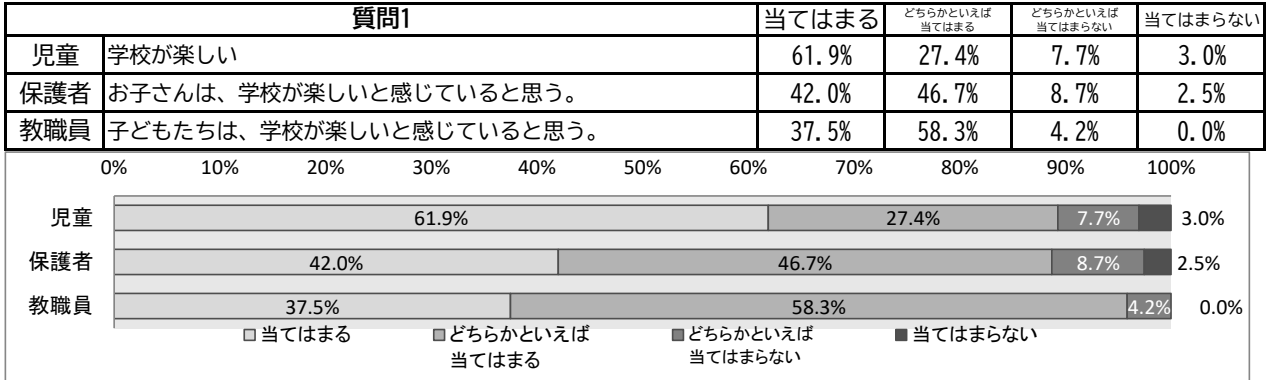
# やまな

周南たちばな学園  
 袋井市立山名小学校  
 学校だより  
 令和6年9月24日発行

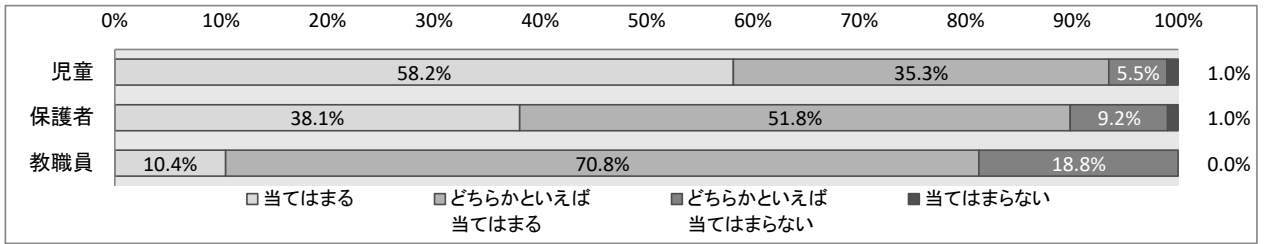
山名小学校の教育活動に関する調査（7月実施）のまとめ（概要版）

7月に実施した本年度1回目の山名小の教育活動に関する調査の結果がまとまりましたので、御報告いたします。調査への御協力、またたくさんの御意見をいただき、誠にありがとうございました。

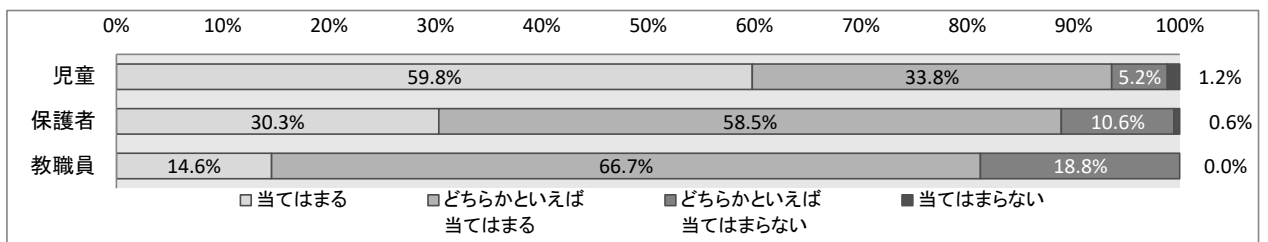
## ○三者（児童・保護者・教職員）共通の質問事項の結果一覧



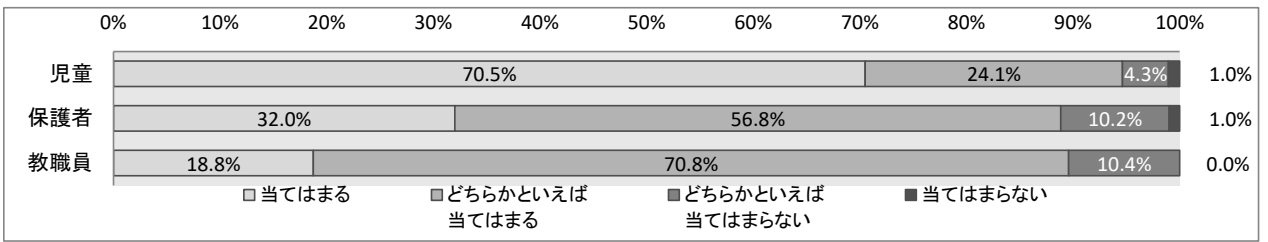
質問5		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
児童	きまりを守って生活している	58.2%	35.3%	5.5%	1.0%
保護者	お子さんは、きまりを守って生活していると思う。	38.1%	51.8%	9.2%	1.0%
教職員	子どもたちは、決まりを守って生活している。【生活部重点】	10.4%	70.8%	18.8%	0.0%



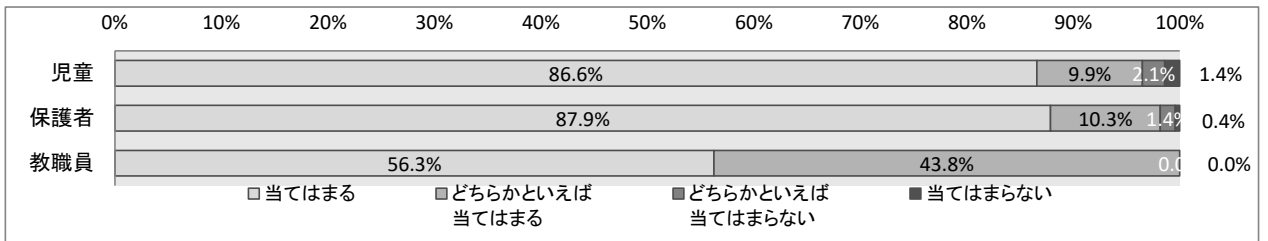
質問6		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
児童	友達に優しい言葉をかけている	59.8%	33.8%	5.2%	1.2%
保護者	お子さんは、周囲の人に優しい言葉をかけて接していると思う。	30.3%	58.5%	10.6%	0.6%
教職員	子どもたちは、友達に優しい言葉をかけている。【生活部重点】	14.6%	66.7%	18.8%	0.0%



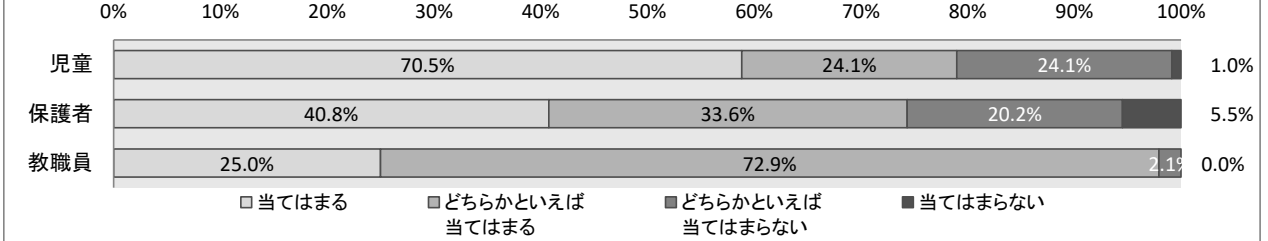
質問7		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
児童	健康や安全に気をつけて生活している	70.5%	24.1%	4.3%	1.0%
保護者	お子さんは、健康や安全に気をつけて生活していると思う。	32.0%	56.8%	10.2%	1.0%
教職員	子どもたちは、健康や安全に気をつけて生活している。	18.8%	70.8%	10.4%	0.0%

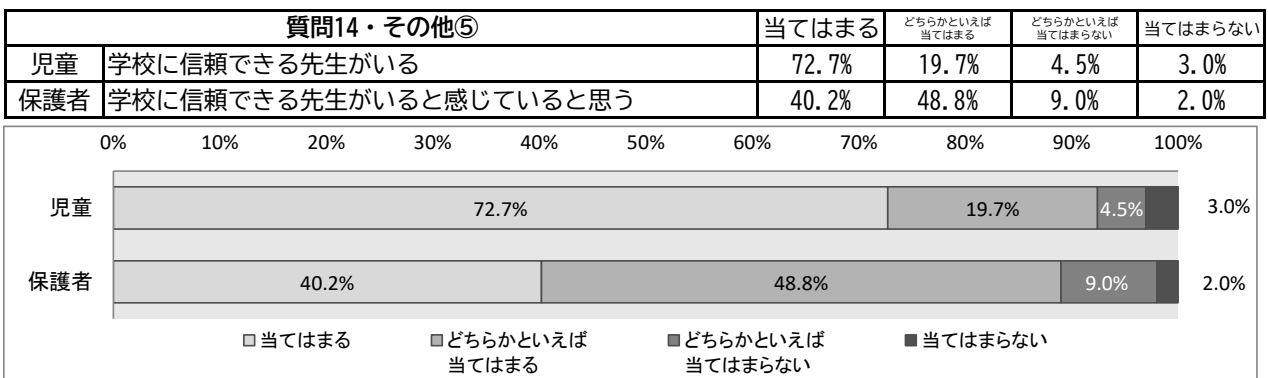
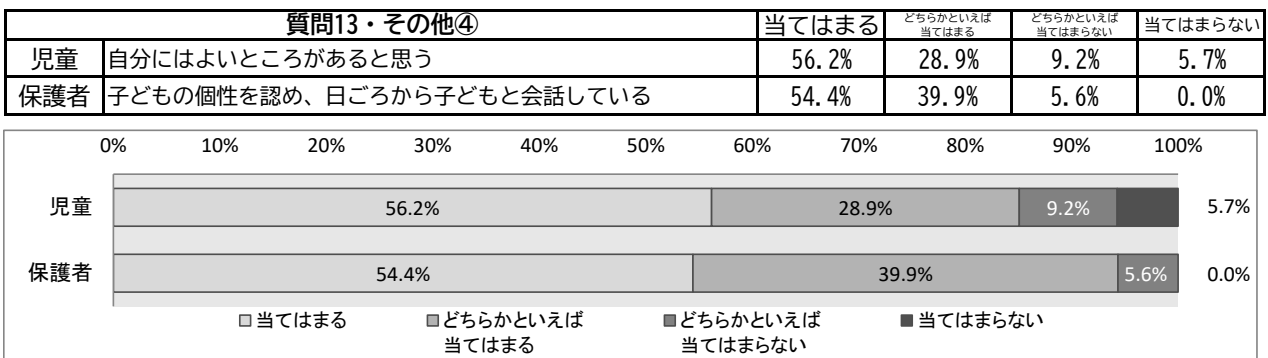
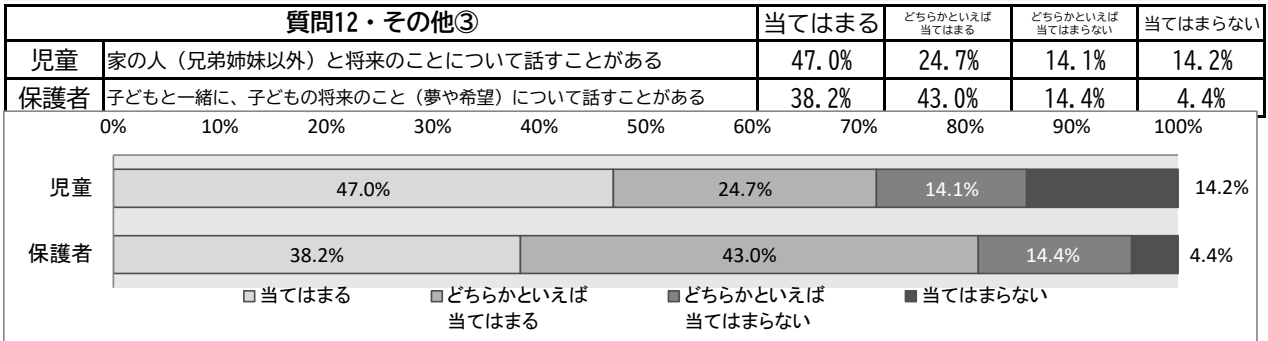
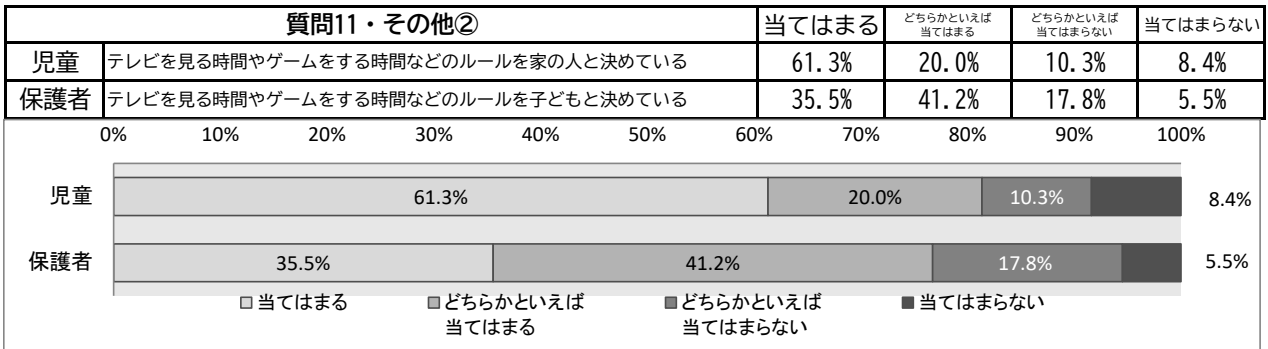
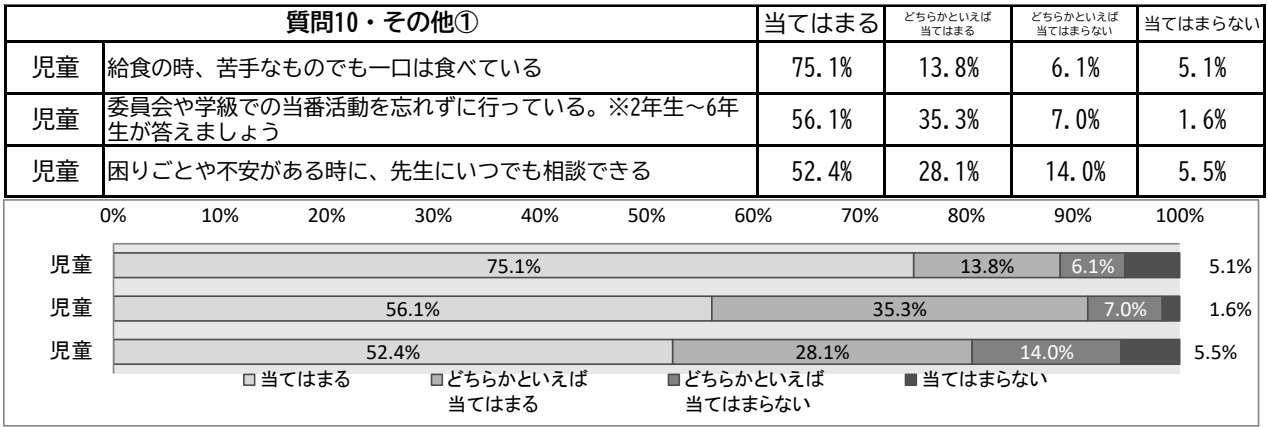


質問8		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
児童	朝ごはんを食べている。	86.6%	9.9%	2.1%	1.4%
保護者	お子さんは、朝ごはんを食べている。	87.9%	10.3%	1.4%	0.4%
教職員	子どもたちは、朝ごはんを食べている。	56.3%	43.8%	0.0%	0.0%



質問9		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
児童	進んで運動している	70.5%	24.1%	24.1%	1.0%
保護者	お子さんは、進んで運動していると思う。	40.8%	33.6%	20.2%	5.5%
教職員	子どもたちは、進んで運動している。	25.0%	72.9%	2.1%	0.0%





## ○アンケートの結果についての考察

本アンケートは、主に市の教育施策がどうであるかを検証するための質問と、山名小の重点項目(主体的に学習、優しい言葉遣い、思いや願いの実現にむけて活動)を検証するための質問から構成しています。また、回答をしやすくするため、質問項目をより分かりやすくシンプルなものにするとともに、保護者の皆様には、御家庭でのお子さんの姿で評価してくださいとし回答を依頼しています。

学習に関しては、児童・教職員ともに「主体的に取り組む」という設問に対して肯定的な回答が増えました。「主体的に」は、授業改善のポイントとして意識している点です。ただ、「主体的とはどんな姿か」その認識にはズレがあるように感じています。今後は「主体的」の具体的な姿を教員と子どもたちとで共有し、子どもたち自身も自信をもって「今日は主体的に学べた」と感じられるようにしていきます。また「えっ、何で?」「どうして?」と感じられる学習課題の設定、子ども同士が考えを更に掘り深めていく対話活動の在り方を授業改善ポイントとしてあげ、学びの質をあげていきます。

今年度から、生活部の重点を「友達に優しい言葉をかけている」に変更したことに伴い、アンケートの設問も「あはは」から変更しました。これは乱暴な言い方やきつい言葉、思いやりに欠ける言動が見られることがあり、それがきっかけで学校を休んでしまったり、子ども間でのトラブルに発展したりということがあったためです。誤った言葉が聞かれた場合には、それをそのままにすることなく、それがよくないことであることを指導しています。今後は、子どもたちにもこのアンケート結果を示して課題を共有し子どもたちと共に考え、学級・委員会それぞれの場で優しい言葉を掛け合う取組を進めていきます。2学期は大きな学校・学年行事も予定されていますので、そうした機会も上手く活用していきます。また、言葉遣いに関しては我々職員自身も反省する点があると感じています。日頃の自身を見直し、襟を正して子どもたちと向き合いたいと思います。

今回も自由記述欄に御意見をいただきありがとうございました。多かった意見として「宿題が多いと感じるので量を調整してほしい」というものです。山名小では「山名っ子ノート」「音読」を基本として、それに漢字書き取り、A Iドリル等をプラス1していくというやり方を取っています。高学年では、計画的な学習を促すため「一定期間内にここまで進めるように」といった出し方を一部取っています。山名小では、全体に家庭学習として示しながらも、個人個人で量を調節したり、やり方を教え補助したりとその子に合った質と量になるよう配慮しています。一番の目的は「個人に見合った分量で、学習内容の定着を図ること」にありますので、家庭学習がやりきれない・苦しいと感じましたら遠慮なく担任までお知らせください。御家庭の判断で量を調節していただいて構いませんし、曜日によって量を加減することも可能です。これからも山名小の子どもたちの健全育成のために、職員、保護者、地域が連携を取り合っていきましょう。

本内容について、学校ホームページ(<https://yamana-e.fukuroi.ed.jp/>)の「学校評価」に掲載されます。

担当：主幹教諭(村松史紀)  
電話：48-6295